

おいしさと健康

Glico

第105期

報告書

[平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念 おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の喜びを、
生命の輝きを

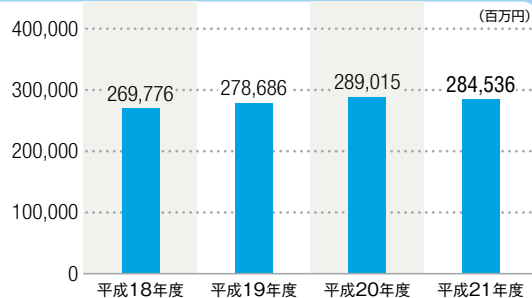
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

C O N T E N T S

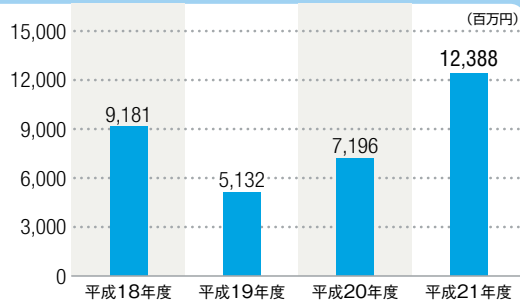
株主の皆様へ	2
部門別の概況(連結)	3
2010年3月期の実績と2011年3月期の計画	5
連結決算の状況	7
単独決算の状況	9
ニュース	10
トピックス 新製品のご紹介	11
会社の概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種手続きについて	18

財務ハイライト | 連結

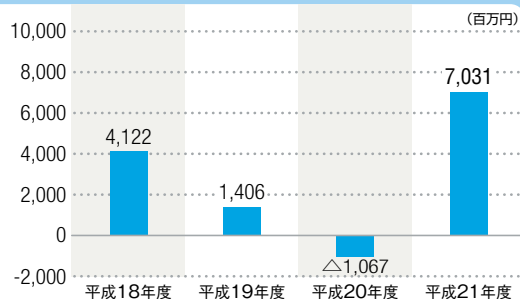
売上高



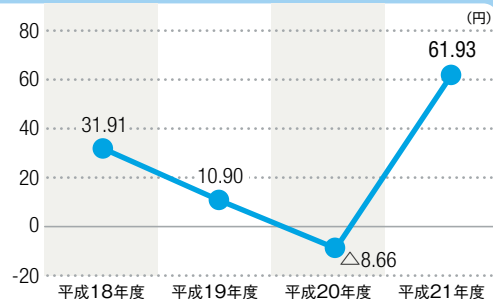
経常利益



当期純利益



1株当たり 当期純利益



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。当社の第105期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益に改善の兆しが見られ、輸出も緩やかに増加するなど、景気は持ち直しの傾向を見せておりますが、先行きには懸念材料も多く、失業率が高水準にあるなど雇用・所得環境は依然として厳しい状況で推移しております。食品業界においては、為替や相場の変動など外部環境による追い風要因はありましたが、消費者の「生活防衛意識」や低価格志向は根強く、市場規模の拡大が望めない中で、販売競争は厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化、新製品・系列品の発売、自動販売機や職場専用ボックスでの販売等による販売拠点の拡大や各々の流通形態に適合した販売対策を積極的に展開いたしました。また、海外事業展開にも継続して取り組みました。

その結果、売上面では、食品部門は前連結会計年度を上回りましたが、その他の部門では前連結会計年度を下回ったため、当連結会計年度の売上高は284,536百万円となり、前連結会計年度(289,015百万円)に比べ1.5%の減収となりました。

取締役社長

仁崎勝久



利益面につきましては、製品規格の変更や生産性向上のための諸施策を講じた結果、外部環境要因による原価低減も相まって売上原価率はダウンしました。また、主力既存品へ経営資源を集中したことにより新製品数が減少したため、広告宣伝費は減少しました。一方、特売ウエイトが増加したこと等の要因により、販売促進費は増加しました。その結果、営業利益は11,805百万円と前連結会計年度(6,401百万円)に比べ5,404百万円の増益となり、経常利益は12,388百万円と前連結会計年度(7,196百万円)に比べ5,191百万円の増益となりました。

また、当連結会計年度は投資有価証券売却益等を特別利益として計上し、関係会社貸倒引当金繰入額や減損損失等を特別損失として計上いたしました。その結果、当期純利益は7,031百万円となり、前連結会計年度の当期純損失(1,067百万円)に比べ8,098百万円の増益となりました。

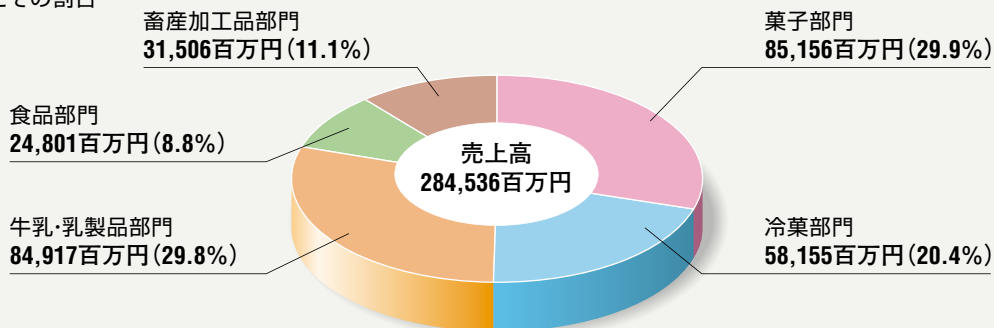
なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき10円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなってきておりますが、全社を挙げて業績の向上をほかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

部門別の概況 連結

部門別売上高とその割合



菓子部門

85,156百万円

前年同期比3.1%の減収



国内では、“スクイーズ”、“チーズ”、“クラッツ”等が前連結会計年度を上回りましたが、“バンホーテンチョコレート”、“プレミオ”、“ポッキーグループ”等は前連結会計年度を下回りました。また、タイ、上海の海外子会社は、前連結会計年度並みの水準に止まりました。その結果、当連結会計年度の売上高は85,156百万円となり、前連結会計年度(87,922百万円)に比べ3.1%の減収となりました。

冷蔵部門

58,155百万円

前年同期比0.9%の減収



主力品の“アイスの実”や“パリッテ”が好調に推移しました。一方、“パピコ”、“牧場しぼり”等は、前連結会計年度を下回りました。また、卸売販売子会社は前連結会計年度並みの水準を確保しました。その結果、当連結会計年度の売上高は58,155百万円となり、前連結会計年度(58,659百万円)に比べ0.9%の減収となりました。

牛乳・ 乳製品部門

84,917百万円

前年同期比0.6%の減収



新製品“プッチンプリンいちご”や“ドロリッチ”が順調に売上を伸ばし、“カフェオーレ”も前連結会計年度を上回りました。一方、清涼飲料及びヨーグルトは前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は84,917百万円となり、前連結会計年度(85,452百万円)に比べ0.6%の減収となりました。

食品部門

24,801百万円

前年同期比3.8%の増収



主力の“2段熟カレー”が前連結会計年度を上回り、“パイスープ”、“ごちたま”、“ちよい食べカレー”も順調に売上を伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は24,801百万円となり、前連結会計年度(23,889百万円)に比べ3.8%の増収となりました。

畜産加工品 部門

31,506百万円

前年同期比4.8%の減収



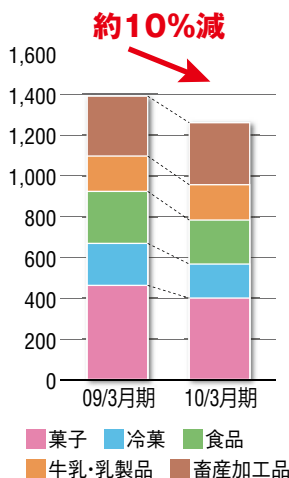
Aーグル等の食品原料は前連結会計年度を上回りましたが、主力のソーセージ、ハム等は前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は31,506百万円となり、前連結会計年度(33,090百万円)に比べ4.8%の減収となりました。

2010年3月期の実績

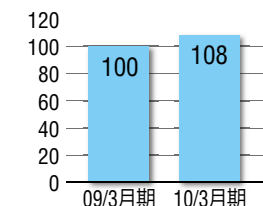
①国内事業の収益力強化

- 主力品、および2～3年目製品の売上拡大
- 製造原価ダウン
- 不採算製品の販売終了など「選択と集中」を進めた結果、販売アイテム数(年間平均販売アイテム数)は前年同期と比べ約10%減少しました。
- 収益性の高い主力品と、育成・定着を目指す2～3年目製品の売上拡大に注力した結果、同製品の売上が前年同期と比べ約8ポイントアップしました。
- 売上全体に占める主力品、2～3年目製品の販売ウエイトが約3%アップし、収益性の改善につなげることができました。

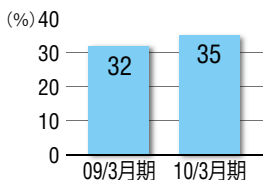
■年間平均販売アイテム数



■既存主力品+2～3年目製品売上高 (09/3を100とした指数)



■既存主力品+2～3年目製品売上ウエイト (%)



②海外事業への積極投資の継続

- タイ
- “ポッキー”、“コロソナ”といった既存ブランド品、および2009年6月に発売した新製品“スピッキー”の売上が順調に推移しました。
- “ピッコ”、“ブリッツ”は苦戦を強いられました。なお、“ピッコ”は、製品名を“ポッキーイン”と改めて2009年9月に再発売し、その後の売上は伸びています。
- 売上が年々増加している“ポッキー”の製造ラインを増設し、3ライン体制として増産に対応しました。



タイグリコ 売上高・営業利益推移 (単位:百万バーツ)



収益力の強化と売上の拡大を目指します。

●中国

- 北京を中心とする華北、広州を中心とする華南、成都を中心とする華中の開拓に取り組みましたが、既存販売エリアである上海、華東地区で苦戦しました。
- “ポッキー”、“プリッツ”の販売促進に集中した結果、売上は堅調に推移しました。一方、“菜園小餅”やチョコレート製品は伸び悩む結果となりました。
- 今後の事業拡大に対応するため、第4工場の建設に着工しました。



プリッツ



第4工場

上海グリーコ 売上高・営業利益推移 (単位:百万元)



2011年3月期の計画

主力品の強化と新製品の育成・定着

2011年3月期は、主力品への注力を継続し、収益力強化を目指すとともに、新製品、新ブランドを育成・定着させ、売上の拡大を目指します。

		製品群
主力品の強化	菓子	ポッキー、プリッツ、ガム
	冷菓	ジャイアントコーン、パピコ、セブンティーンアイス、バナップ
	牛乳・乳製品	カフェオーレ
	食品	2段熟カレー、クレアおばさんの家庭料理シリーズ
新製品の育成・定着	菓子	おつまみスナック、かるじゃが
	牛乳・乳製品	ドロリッチ
	海外事業	タイ:スピッキー 中国:プリッツ、コロンのリニューアル

売上高 **2,930億円** ↑ **3.0%増**
(10/3月期比)

営業利益 **120億円** ↑ **1.7%増**
(10/3月期比)

連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)		前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	77,176	82,673	I 流動負債	76,342	66,464
現金及び預金	11,198	16,659	支払手形及び買掛金	28,942	25,507
受取手形及び売掛金	29,971	29,421	短期借入金	21,862	10,908
有価証券	9,900	13,707	未払費用	18,559	19,860
商品及び製品	8,445	7,479	未払法人税等	872	3,205
仕掛品	932	934	役員賞与引当金	88	109
原材料及び貯蔵品	10,841	9,931	販売促進引当金	1,195	1,292
前渡金	286	12	その他	4,823	5,580
前払費用	271	202	II 固定負債	16,601	26,236
短期貸付金	448	191	長期借入金	5	10,005
繰延税金資産	2,792	2,465	退職給付引当金	12,133	11,556
その他	2,183	1,814	役員退職慰労引当金	344	193
貸倒引当金	△95	△146	その他	4,117	4,481
II 固定資産	115,875	118,314	負債合計	92,944	92,701
(有形固定資産)	66,463	65,388	[純資産の部]		
建物及び構築物	21,291	20,341	I 株主資本	101,495	106,779
機械装置及び運搬具	25,623	25,481	資本金	7,773	7,773
工具、器具及び備品	3,332	3,056	資本剰余金	7,426	7,426
土地	14,647	11,600	利益剰余金	112,935	118,263
リース資産	166	291	自己株式	△26,639	△26,684
建設仮勘定	1,400	4,617	II 評価・換算差額等	△3,095	△643
(無形固定資産)	2,083	4,349	その他有価証券評価差額金	△1,228	950
ソフトウェア	590	1,011	繰延ヘッジ損益	△635	△493
ソフトウェア仮勘定	1,213	3,098	為替換算調整勘定	△1,231	△1,100
その他	280	239	III 少数株主持分	1,707	2,151
(投資その他の資産)	47,328	48,576	純資産合計	100,107	108,287
投資有価証券	36,819	37,671	負債純資産合計	193,051	200,988
長期貸付金	952	1,175			
長期前払費用	151	137			
繰延税金資産	5,814	4,578			
その他	3,983	5,702			
貸倒引当金	△392	△688			
資産合計	193,051	200,988			

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (20.4.1~21.3.31)	当連結会計年度 (21.4.1~22.3.31)
I 売上高	289,015	284,536
II 売上原価	170,250	160,745
売上総利益	118,764	123,791
III 販売費及び一般管理費	112,363	111,985
営業利益	6,401	11,805
IV 営業外収益	2,254	2,113
V 営業外費用	1,458	1,531
経常利益	7,196	12,388
VI 特別利益	606	97
VII 特別損失	5,170	764
税金等調整前当期純利益	2,632	11,721
法人税、住民税及び事業税	1,351	4,020
法人税等調整額	1,964	311
少数株主利益	383	358
当期純利益または当期純損失(△)	△1,067	7,031

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (20.4.1~21.3.31)	当連結会計年度 (21.4.1~22.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,083	23,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,295	△13,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,582	△3,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	△426	92
現金及び現金同等物の増減額	3,778	7,207
現金及び現金同等物の期首残高	15,803	19,581
現金及び現金同等物の期末残高	19,581	26,789

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 利 剩 余 金	本 利 金 剩 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			
平成21年3月31日残高	7,773	7,426	112,935	△26,639	101,495	△3,095	1,707	100,107
当連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△1,703		△1,703			△1,703
当期純利益			7,031		7,031			7,031
自己株式の取得				△48	△48			△48
自己株式の処分		0		4	4			4
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額(純額)						2,452	443	2,896
当連結会計年度中の変動額合計	—	0	5,327	△44	5,283	2,452	443	8,179
平成22年3月31日残高	7,773	7,426	118,263	△26,684	106,779	△643	2,151	108,287

単独決算の状況

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末 (平成21年3月31日)	当事業年度末 (平成22年3月31日)
【資産の部】		
I 流動資産	46,756	52,329
II 固定資産	96,994	99,227
(有形固定資産)	29,591	27,203
(無形固定資産)	1,245	3,280
(投資その他の資産)	66,157	68,743
資産合計	143,750	151,557
【負債の部】		
I 流動負債	69,878	62,211
II 固定負債	7,209	16,724
負債合計	77,087	78,936
【純資産の部】		
I 株主資本	68,544	72,201
II 評価・換算差額等	△1,881	419
純資産合計	66,662	72,621
負債純資産合計	143,750	151,557

要約損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (20.4.1~21.3.31)	当事業年度 (21.4.1~22.3.31)
I売上高	144,490	141,759
II売上原価	76,341	70,884
売上総利益	68,148	70,874
III販売費及び一般管理費	65,926	64,887
営業利益	2,221	5,987
IV営業外収益	3,903	3,790
V営業外費用	1,085	1,280
経常利益	5,039	8,497
VI特別利益	577	97
VII特別損失	5,340	800
税引前当期純利益	276	7,793
法人税、住民税及び事業税	103	2,073
法人税等調整額	1,866	316
当期純利益または当期純損失(△)	△1,693	5,404

要約株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成21年3月31日残高	7,773	7,413	12	7,426	79,983	△26,639	68,544	△1,246	△635	△1,881	66,662
当事業年度中の変動額											
剰余金の配当					△1,703		△1,703				△1,703
当期純利益					5,404		5,404				5,404
自己株式の取得						△48	△48				△48
自己株式の処分			0	0		4	4				4
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)								2,159	142	2,301	2,301
当事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	3,701	△44	3,656	2,159	142	2,301	5,958
平成22年3月31日残高	7,773	7,413	13	7,426	83,685	△26,684	72,201	913	△493	419	72,621

タイグリコ 大型イベントを開催

タイグリコは2009年11月14日、バンコク都内中心部にあるショッピングセンター「サイアムパラゴン」の屋外イベントスペースで、2009年スティック菓子キャンペーン「GET STICK GET FUN2」の最終抽選会を兼ねた大型イベントを開催しました。当日は、たくさんのお客様

にお越しいただき、ゲームやマジックショー、コンサートなどを楽しんでいただきました。ハイライトの抽選には、112万通ものご応募をいただきました。一等景品のグリコオリジナルデザインのホンダ「ジャズ(日本名:フィット)」をめぐって、抽選会は大いに盛り上がりました。



上海グリコ 中国広告賞を受賞

上海江崎グリコが販売するポテトスナック「ポテポ」のCMが、2009年11月1日、「第16回中国国際広告祭」の長城賞「食品」部門でブロンズ(銅賞)を獲得しました。また人気タレント王心凌(ワン・シン・リン)を起用したポッキーのCMも入賞を果たしました。

今回受賞した中国広告賞(長城賞)は、中国で最も権威のある広告賞といわれています。特に「食品」部門への応募は約500作品と、他部門に比べて非常に多く、激戦を経ての受賞となりました。

「OTONA GLICO」 多数の広告賞を受賞

「OTONA GLICO」の一連のテレビCMが、2009年度、多数の広告賞を受賞しました。中でもACC(社団法人全日本シーエム放送連盟)のACC賞は、2009年で49回を数え、名誉ある賞として知られています。同賞のテレビCM部門で、応募総数1,675作品の中から当社のCMが、サントリーのCMに次いでゴールド(第2位)に選ばれました。

受賞一覧

- ACC賞(テレビCM部門ゴールド)
- TCC賞(TCCグランプリ)
- ADC賞(ADC賞)
- ギャラクシー賞(CM部門 優秀賞)
- 交通広告グランプリ 2009(駅ポスター部門 優秀作品賞)
- フジサンケイ広告賞(メディア部門テレビ 優秀賞)
- メディア部門ラジオ 優秀賞(クリエイティブ部門テレビ 優秀賞)
- パブリック部門テレビ 優秀賞(パブリック部門ラジオ 優秀賞)
- 電通賞(ベストキャンペーン賞)
- テレビ食品部門 最優秀賞



菓子

菓子部門

新しくなった 歯のためのガム

[POs-Ca(ポスカ)]

〈スーパーストロングミント〉〈クリアミント〉
〈ライムミント〉〈ライチカモミール〉

日・欧・米7カ国で特許を取得している水溶性カルシウム「POs-Ca」を配合した歯のためのガムです。鉄腕アトムをモチーフにした「Tetsu-wan Teeth Project」を実施。製品特徴を訴求することで市場での活性化を狙います。



カリッと噛むたび あふれる旨みの濃厚おつまみスナック

[クラッツ]

〈チキンアラビアータ〉
〈ペッパーベーコン〉〈スモーキーチーズ〉

一口サイズの香ばしいプレッツェルに濃厚でスパイシーなソースを染み込ませたおつまみスナックです。ローストアーモンドをミックスしているので、食感や味の変化を楽しめます。新味としてスパイシーなトマト仕立ての旨みが楽しめる〈チキンアラビアータ〉を発売します。



ミルフィーユのような パリパリ食感をプラス

[パナップ]

〈カフェラテ〉〈グレープ〉〈ストロベリー〉

ソースとホワイトチョコが層状に入り、アイスとソースの味の組み合わせに、ミルフィーユのようなパリパリ食感のハーモニーが加わりました。容器もチルド飲料のような形状になって、冷たいスイーツの魅力を伝えます。



とろとろチョコをからめて食べる、 アレンジカップアイス

[トロネーゼ]

〈バニラ&Wチョコ〉

スプーンでトッピングチョコを割ると、中からチョコソースがとろ〜り。「とろとろ食感ソース」をアイスにからめたり、「トッピングチョコ」をアイスと一緒に食べたりと、自分好みに味や食感をアレンジして食べることができるアイスです。



食品

食品部門

ごはんによくあうおかずが手軽に! 「ごちうまシリーズ」新発売

【ごはんによくあう。ごちうま】

〈鶏肉とねぎの塩だれ炒め〉〈豚肉ともやしのねぎ味噌炒め〉

〈牛肉となすのオイスター炒め〉〈豚肉とキャベツのコチュジャン炒め〉

ピリツとしたおいしさで、ごはんによくあう具材入りソースです。主菜になるおかずメニューで毎日の献立に悩む主婦の皆さんを応援。フライパン1つで簡単に調理できるので、忙しい方にも便利です。お求めやすい価格帯で具付き惣菜市場の活性化を狙います。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

おなかでふえる ビフィズス菌が入って新登場!

【朝食りんごヨーグルト】

角切りりんごとすりりんごが入った『朝食りんごヨーグルト』シリーズがリニューアル。生きて腸まで届き、おなかでふえる独自のビフィズス菌「GCL2505」をプラス。おいしさはもちろん、おなかのことも考えたヨーグルトです。



畜産加工品等

グリコ栄養食品株式会社

原料肉は、国産の豚肉と鶏肉!

【朝こそウインナー110g】

【サラダにそのままソーセージ200g】

安心・安全志向の強い消費者ニーズに応え、国産原料肉を使用しました。『朝こそウインナー』は、化学調味料を使わない優しい味わいとあらびき感が特長。『サラダにそのままソーセージ』は、まるでハムのような新しい食感とあっさり味がドレッシングを引き立て、サラダにたっぷり使えます。



栄養ドリンク

アイクレオ株式会社

鏡を見たとき感じた疲れに カラダの中から疲れをケア

【Preciousvita(プレシャスヴィータ)】

体を感じる疲れや、鏡を見たとき感じた疲れを、体の中からケアするノンカフェインの栄養補給剤です。妊娠中や授乳期でも安心して、肉体疲労時の栄養補給・滋養強壮に飲むことができます。ほんのり甘くさわやかな飲みやすいマスクット風味です。



※指定医薬部外品

会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
 創立年月日 大正11年2月11日
 資 本 金 7,773,681,654円
 営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
 従 業 員 数 1,088名
 本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06) 6477-8352
- 北海道・東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話 (022) 717-2821
- 関東統括支店
〒370-0828
群馬県高崎市宮元町38番10号
電話 (027) 330-1914
- 首都圏統括支店
〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話 (03) 3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市東区東大曾根町22番28号
電話 (052) 919-0714
- 近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06) 6477-8470
- 中国統括支店
〒732-0816
広島市南区比治山本町16番35号
電話 (082) 250-4111
- 九州統括支店
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話 (092) 474-0331

主な関係会社

北海道グリコ株式会社
 仙台グリコ株式会社
 茨城グリコ株式会社
 グリコ千葉アイスクリーム株式会社
 東京グリコ株式会社
 武生グリコ株式会社
 三重グリコ株式会社
 関西グリコ株式会社
 神戸グリコ株式会社
 グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
 鳥取グリコ株式会社
 九州グリコ株式会社
 江栄情報システム株式会社
 株式会社グリコ物流サービス
 東北フローズン株式会社
 関西フローズン株式会社
 THAI GLICO CO., LTD.
 EZAKI GLICO USA CORP.
 上海江崎格力高食品有限公司
 上海江崎格力高南奉食品有限公司
 グリコ乳業株式会社
 グリコ栄養食品株式会社
 アイクレオ株式会社

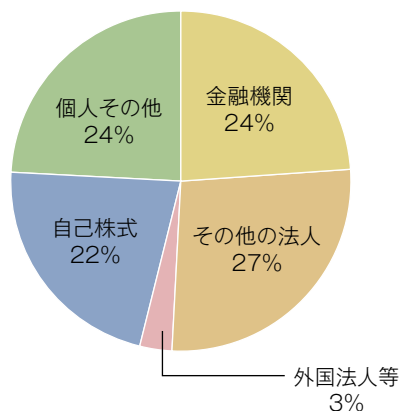
役員

代表取締役社長	江崎	勝久	取締役	江崎	悦朗	監査役(常勤)	芝池	正明
取締役	原	光伴	取締役	益田	哲生	監査役	玉井	英二
取締役	吉田	安矩	取締役	江崎	正道	監査役	倉持	治夫
取締役	中川	宗和	取締役	安積	正裕	監査役	枅田	圭兒
取締役	栗木	隆	監査役(常勤)	穴穂	忠男			

株式の状況

会社が発行する株式の総数	470,000,000株
発行済株式総数	144,860,138株
株主数	14,879名

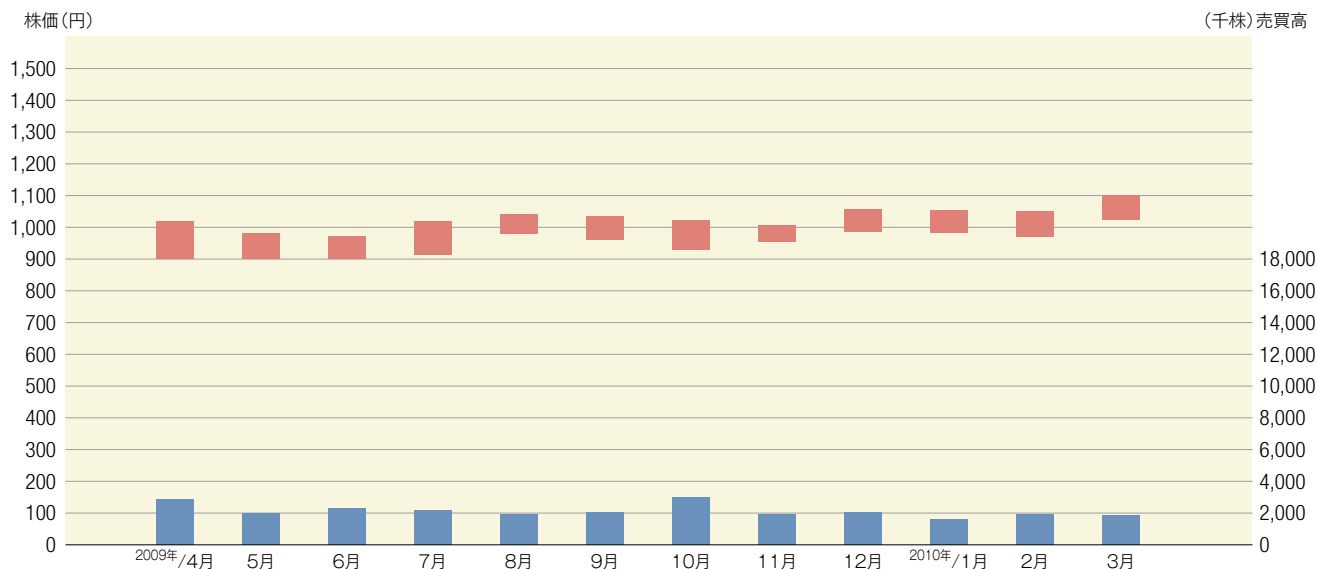
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,240
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,050
大正製薬株式会社	2,020

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ **0120-176-417**

インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法

当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所

東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

株券電子化後の各種手続きについて

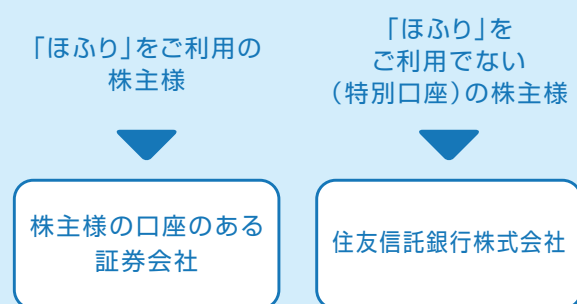
2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。

お届け先・ご照会先



※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)をお願いいたします。

3 1,000株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1单元(1,000株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて1,000株となるように株式をお売りする、もしくは1,000株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>